

さまざまな屋根材に対応できる。
充実のラインアップ!



2液弱溶剤フッ素樹脂塗料

リリーフNADフッ素

2液弱溶剤シリコン樹脂塗料

リリーフNADシリコン

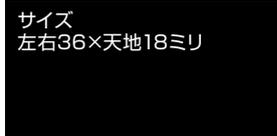
2液弱溶剤ウレタン樹脂塗料

リリーフNADウレタン

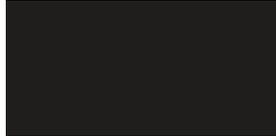


標準色

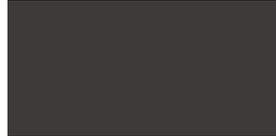
● 本見え本帳のPDF版をカラー出力された場合、この見え本帳に掲載しています標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の見え本帳をお願いします。



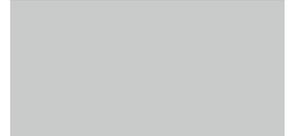
▲ブラック



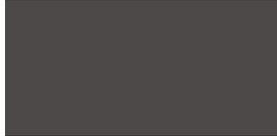
▲スレートブラック



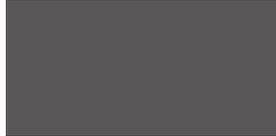
▲クラウドグレー



▲ミドルグレー



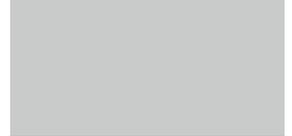
▲マウスグレー



▲グレー



▲ココナッツ



▲ライトグレー



▲チェスナット



▲スレートブラウン



▲ラシットレッド



▲ガーネットレッド※



▲ブリックレッド



▲ゴールド※



▲ベージュ



▲ディープブルー



▲ロイヤルブルー



▲マリンブルー



▲グラスグリーン※



▲オリーブ※



▲ハルノグリーン※



▲ニューグリーン※



▲クラシックグリーン※



▲銀黒2号

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。



▲銀黒3号

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。



▲シルバーブラック



▲銀星 (ぎんせい)

※「リリーフNADウレタンN」の下塗りはグレーになります。



▲S-1シルバー



▲スーパーいぶし(艶消し)



▲シルバー30号

左の3色(「S-1シルバー」「スーパーいぶし」「シルバー30号」)は、「リリーフNADフッ素」「リリーフNADシリコン」専用色となります。「リリーフNADウレタン」では対応できません。ご了承ください。

- 塗料の種類により同じ色相でも色、艶が異なる場合があります。
 - 色見本は経時劣化により変色しますので、直射日光の当たる場所や高温多湿の場所には保管しないでください。
 - 広い面積に塗られた場合、見え本帳のカラーチップと多少違って見える場合があります。
 - 品種により、標準色に含まれない色や対応できない色があります。
 - 品種により、多少色相および仕上がり外観(艶)などに相違がある場合があります。ご了承ください。
 - この見え本帳は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。
 - 膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。
 - シルバー色の塗装はスプレーのみとなります。 ● シルバー色の下塗り塗料の色相は、品種により異なることがありますので、ご注文の際は必ずご確認ください。
- ※印の標準色(7色)は割高(2~3割程度)になります。

特長

- 標準色を豊富にラインアップ。お好みのカラーで屋根を彩ります。
- ラジカル制御技術により、優れた耐候性を長期間発揮します。
- 弱溶剤系塗料のため、新規の施工、塗り替え施工を問わずご使用いただけます。また、プライマーの選択により、多様な屋根材に広く対応します(厚形スレート瓦、波形スレート、カラー鋼板、ガルバリウム鋼板など)。
- 当社が長年培った防かび、防藻技術を応用。長期間にわたり、かびや藻から屋根を保護します。

● リリーフNADフッ素

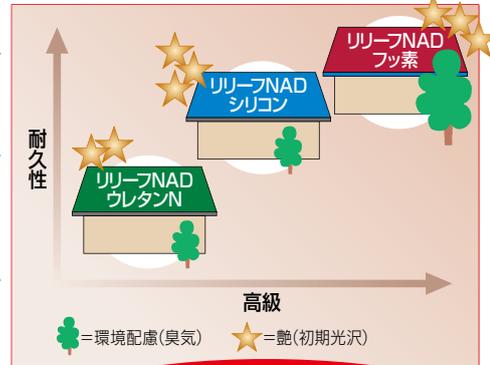
フッ素樹脂を使用した、最高級タイプの塗料です。

● リリーフNADシリコン

シリコン樹脂を使用した、抜群の耐候性・耐久性を発揮する、ハイクラスタイプの塗料です。

● リリーフNADウレタン

ウレタン樹脂を使用した、優れた耐久性と幅広い塗り替え適性をもつスタンダードタイプの塗料です。



● ライフサイクルコスト比較

同じ塗料を使って20年間メンテナンスすると仮定した場合のライフサイクルコストのイメージです。



- 期待耐用年数は次回塗り替えまでの推奨年数(目安)です。ただし、塗膜は風雨により表層から少しずつ風化し、初期の光沢は徐々に低下していきます。
- 塗膜の劣化速度は一般的な環境下を想定しております。● 足場代などの付帯費用は考慮しておりません。
- 塗装仕様などにより、実際のトータルコストやコスト比率は変わります。

製品構成

	製品名	色	荷姿	備考
上塗り	リリーフNADフッ素	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤フッ素樹脂
	リリーフNADシリコン	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤シリコン樹脂
	リリーフNADウレタン	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤ウレタン樹脂
特殊上塗り	NTスラリー瓦用上塗シリコン	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤シリコン樹脂
	NTスラリー瓦用上塗N	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤ウレタン樹脂
万能下塗り	エポラオールプライマー	グレー、赤サビ、黒サビ、遮熱ホワイト	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)、4kgセット(A液:3.5kg B液:0.5kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
特殊下塗り	NTスラリー瓦用シーラー	鉛色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
	塩ビ鋼板用プライマー	茶色	12.6kgセット(A材:12kg B材:0.6kg)	2液溶剤特殊ウレタン樹脂
窯業系下塗り	エポラマイルドプライマーS	クリアー	28kgセット(A液:14kg B液:14kg)、14kgセット(A液:7kg B液:7kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
	ウルトラリフプライマー	グレー、ブラック	15kg	1液水性特殊エポキシ樹脂
金属用下塗り	エポラ#1プライマーN	グレー	16kg	1液弱溶剤エポキシ樹脂
	エポラ#3プライマー	白	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)	2液溶剤エポキシ樹脂
希釈剤	NT塗料用シンナーA	—	16ℓ、4ℓ	—
	エポラ#3シンナー	—	16ℓ、4ℓ	—
特殊添加骨材	PSパウダー	—	16kg(4kg×4袋)	特殊セメント骨材
硬化促進剤	弱溶剤トップ硬化促進剤	—	1kg	上塗り用硬化促進剤

*①: B液には「猛暑型B液」もあります(35℃以上の場合)。

標準塗装仕様と屋根材の種類

●それぞれの仕様に記載している使用量、塗り面積は希釈量(シンナー、水)を含んでおりません。

●上塗り一覧表

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
上塗り	フッ素 ●リリーフNADフッ素 A液 ……14kg ●リリーフNADフッ素 B液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	2時間以上 72時間以内
	シリコン ●リリーフNADシリコンA液 ……14kg ●リリーフNADシリコンB液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg						
	ウレタン ●リリーフNADウレタンN A液 ……14kg ●リリーフNADウレタンN B液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~1kg						

●リリーフNADウレタンN、リリーフNADシリコン、リリーフNADフッ素をスプレー施工する場合の希釈は16kgセットに対して0~2kgとしてください。

●シルバー色はスプレー施工のみとなります。

●上塗りの各塗料は夏場、曇まで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。

●リリーフNADフッ素、リリーフNADシリコンは、35℃以上の場合、猛暑型B液をご使用ください。

一般窯業系屋根材、一般金属系屋根材

①標準塗装仕様 窯業系下地(新生瓦、スレート屋根など)仕様 金属屋根下地(折板、瓦棒、トタンなど)屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	窯業系下地 ●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	3時間以上 72時間以内
	金属系下地 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。						
下塗り	●エポラオールプライマー A液 ……14kg ●エポラオールプライマー B液 ……2kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m ² /セット	3時間以上 72時間以内
上塗り	●上塗りは③ページ「上塗り一覧表」よりお選びください。						

●屋根材の重なり部分は緑切りを行ってください。漏水の原因となります。

●金属屋根の補修塗り、下塗りには1液タイプの「エポラ#1プライマーN」もご使用いただけます。

●ガルバリウム鋼板の補修塗り、下塗りには「エポラ#3プライマー」もご使用いただけます。

●新設のガルバリウム鋼板は油分が付着している場合がありますので、脱脂を行ってください。

●エポラオールプライマーは多少の吸い込みに対応できるように顔料を少なく設計しています。このため、施工方法や使用量、希釈量、下地の状態によりムラに見える場合があります。特に、窯業系下地で塗料が下地に多く吸い込まれる場合、隠ぺい性が悪くなります。

●下地の吸い込みが多いと予測される場合は、下記の仕様のエポラマイルドプライマーSで施工するか、吸い込みが多いと予測される箇所にあらかじめエポラマイルドプライマーSで吸い込み止めをした後、エポラオールプライマーを施工してください。

②窯業系下地(吸い込みの激しい場合)屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16	175~200 m ² /セット	2時間以上 72時間以内
下塗り	●エポラマイルドプライマーS A液 ……14kg ●エポラマイルドプライマーS B液 ……14kg						
上塗り	●上塗りは③ページ「上塗り一覧表」よりお選びください。						

●下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合は、施工間隔(2~72時間)をあけて、下塗り2回目を施工してください。

一般窯業系屋根材

薄形化粧スレート瓦(カラーベスト、コロニアルなど)

メーカーにより形状もさまざまで名称も異なりますが、厚みが5~10mmの薄形のスレート瓦です。軽量でバリエーションも豊富なため、広く普及している屋根材です。



▲カラーベスト

厚形スレート瓦



セメントと化学繊維をプレス成形した瓦です。和形、洋形さまざまな形状があります。

波形スレート



工場や倉庫の屋根などに多く使われている屋根材です。

※新設には施工できません。
※ノンアスベストの波形スレートの場合は最寄りの営業所までお問い合わせください。

一般金属系屋根材

カラー鋼板

金属屋根素材に焼き付け塗装されているものが一般的です。

※フッ素鋼板の場合は最寄りの営業所にお問い合わせください。



無塗装ガルバリウム鋼板



▲表面拡大



表面に結晶模様が見えます。新設の場合には表面の脱脂と目粗しが必要です。

③エポラオールプライマー厚膜仕様(不陸調整が必要な厚形スレートなどの窯業系屋根材)

工程	材料の調合 (重量比)	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。 				
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ●エポラオールプライマー A液 14kg ●エポラオールプライマー B液 2kg ●PS/パウダー 4kg ※塗膜厚確保のため、できる限り無希釈施工をお勧め致します。 ●希釈剤 NT塗料用シンナーA(冬季低温時の希釈として) ローラー.....0~0.2kg スプレー.....0~0.4kg 	<ul style="list-style-type: none"> ●スプレー ●ローラー 	6時間以内	0.15~0.8 ※ローラーは2~3回塗りを推奨	12時間以上 72時間以内
上塗り	●上塗りは④ページ「上塗り一覧表」よりお選びください。				

エポラオールプライマー厚膜 混練方法



- ①A液とB液をあらかじめ調合します。
- ②A液とB液を攪拌機を使用してよく混ぜます。
- ③さらにPSパウダー(4kg×1袋)を混合し、攪拌機を使用してよく混ぜます。
- ④60メッシュの濾過網で濾過します。
- ⑤濾過すると塗料中のブツ(ままこ)が採れます。濾過した塗料で施工してください。

※PSパウダーを入れる前に、必ずA液とB液を混合してください。

金属系屋根材(塩ビ鋼板屋根材)

④塩ビ鋼板屋根塗り替え仕様

工程	材料の割合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●高圧水洗(10~15MPa)やワイヤーブラシなどで表面の塵、ホコリ類を完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。 						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> ●塩ビ鋼板用プライマー A材 ……………12kg ● // // B材 ……………0.6kg (原液のまま使用してください)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 	—	0.1~0.12	105~126 m ² /セット	2時間以上 6時間以内
上塗り	●上塗りは⑥ページ「上塗り一覧表」よりお選びください。						

- 下地のチョーキング塗膜は高圧水洗で除去してください。チョーキングが激しい場合、洗浄ができない場合はマジックロンなどでチョーキング膜を除去してください。
- 下塗りはローラーでしごくように施工してください。しごいて施工することでチョーキング塗膜を溶解・復元し、プライマーに混合させます。
- 下塗りは厚く塗りすぎないように使用量を厳守してください。塗料のたれ、たまりは剥離の原因となります。
- 下塗りと上塗り1回目までは同一日に施工してください。施工間隔を延長しますと上塗りとの密着が悪くなります。下塗りと上塗りとの施工間隔を厳守してください。
- 外気温30℃以上の猛暑日は、プライマー施工後1時間以内にトップコートを塗装してください。
- 詳細は「塩ビ鋼板塗替工法」カタログをよくお読みになり、正しくご使用ください。

塩ビ鋼板

塩ビ被覆に可塑剤が多く含まれており、また劣化が進むとチョーキング層も厚く緻密になるため、特殊なプライマーが必要になります。



水性塗料で施工可能

アスファルトシングル

フェルト類にアスファルトを浸透させて表面に着色鉱物粒を貼り付けた屋根材です。溶剤系塗料はアスファルトを溶かしてしまうので使用できません。

●推奨塗装仕様

下塗り	シングルプライマー
上塗り	水性ルーフシリコンNEO

※詳細は「水性ルーフシリコンNEO」標準色色見本帳をよくお読みになり、正しくご使用ください。

※下地の状態により、仕上がりにムラが発生しやすいので、塗装時は充分注意してください。



■ニットの屋根用塗料シリーズ「プライマー適合表」

ニットの屋根用塗料シリーズ「プライマー適合表」を閲覧いただけます。さまざまな素地に対する各種プライマーの適合を一覧表にしたものです。右記のQRコードからアクセスしてください。



窯業系屋根材(乾式コンクリート瓦)

⑤乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、クボタ洋瓦、スカンジア瓦など)屋根塗り替え仕様

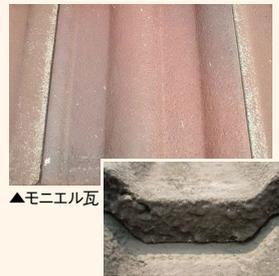
※本製品は当社の特別講習を受講された方への限定工法となります。

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●高圧水洗(10~15MPa)やワイヤーブラシを併用してホコリやコケなどを十分に洗浄し、脆弱なスラリー層を取り除いてください。 ●水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。						
下塗り	●NTスラリー瓦用シーラー A液14kg ●" " B液2kg	2~3 回	●ローラー ●刷毛	8時間以内	追っかけ塗り※ 0.3~0.5	32~53 ㎡/セット	12時間以上 48時間以内
上塗り シリコン ウレタン	●NTスラリー瓦用上塗シリコン A液 14kg ●" " B液 2kg ●NT塗料用シンナーA(ローラー、刷毛).....0~1kg ●NT塗料用シンナーA(スプレー).....0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.15	106 ㎡/セット	2時間以上
	●NTスラリー瓦用上塗N A液14kg ●" " B液2kg ●NT塗料用シンナーA(ローラー、刷毛).....0~1kg ●NT塗料用シンナーA(スプレー).....0~2kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.15	106 ㎡/セット	2時間以上

- コケなどが残った場合、シーラーの付着不良を起こしますので完全に除去してください。
- シーラー乾燥後にガムテープを施工面に貼り付け、剥がしたとき粘着面にスラリー層が付着していないことを確認してください(テープにスラリー層が付着している場合は下塗りを再度施工してください。下塗りが不足している場合、基材への浸透不足により、素地が強化されず効果が出ません)。
- 劣化が激しくスラリー層が消失している箇所へのNTスラリー瓦用シーラーの塗り回数は1回としてください。
- NTスラリー瓦用上塗シリコンの標準色はリリーフNADシリコンと同様になります。
- NTスラリー瓦用上塗Nの標準色はリリーフNADウレタンNと同様になります。
- シルバー色の施工はスプレーのみとなります。
- ※下塗りの施工は、瓦表面にシーラーが浮き、シーラーの艶が出るまで施工してください。通常の1回塗りでは瓦表面にシーラーは浮いてきません。施工間隔をあけずに2回、3回と追っかけて塗り重ねてください。また、すでに艶が出た箇所への過剰な塗り重ねは付着不良など、不具合の原因となりますのでご注意ください。高圧水洗浄時にスラリー層が全面剥離または部分剥離した場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 詳細は「NTスラリー瓦塗替工法」カタログをよくお読みになり、正しくご使用ください。

乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦など)

この瓦の特徴は、表面に着色セメントスラリー層があることです。スラリー層は脆弱なため、通常の塗り替えでは剥離が発生しやすくなります。塗り替えの際にはこのスラリー層を固着することが重要になります。厚形スレート瓦との判別は、瓦の小口に凹凸があることで確認できます。



施工不可の瓦基材

粘土瓦(素焼き瓦、釉薬瓦、いぶし瓦など)

粘土を焼成して作る歴史の古い瓦です。釉薬やいぶしなど、さまざまな仕上げがありますが、塗料との相性が悪いため、いずれも施工できません。スレート瓦との判別方法としては、次のような方法があります。

- いぶし瓦=表裏とも銀色(または黒)
- その他の粘土瓦=裏面がレンガ色(またはクリーム色)
- 厚形スレート瓦=裏面がセメント色



